

茨城県  
自衛隊家族会

# 会報

第1号  
2024年6月1日  
発行者  
正代 初代

## 県総会特集

## 会長挨拶

茨城県自衛隊家族会  
会長 正代 初代



皆様お疲れ様です。

本日は、初めての試みとして、「会長からの情報発信」と題して、「私の思い」を皆様に発信させていただきますと思います。情報発信の資料は、今月五月六日〜十日までの間に、五回にわたりインターネットを通じて各地区家族会会長の方々に配信している通りです。

そこで、本日はその中の抜粋

あるいはその中で一部発信していない内容について端的にお話したいと思います。

さて、冒頭の挨拶で述べました通り、世界は洋の東西を問わず戦争・紛争が多数発生し防衛環境は増々厳しくなってきました。

また、本年元旦に発生しました能登半島地震をはじめ、各地で従来に増して大きな震度を伴う震災が発生し、東南海大地震の蓋然性は益々拡大しております。

このため、自衛隊では人材の確保、人材の育成及び任務遂行に邁進できる環境の整備は早急に改善すべき問題となっております。

私達、自衛隊家族会はこの問題の改善に少しでもお手伝いするために、**人材募集の支援部**、**隊精強化への関わり**、**及び家族支援協力への参加等**、従来以上に真剣に取組む必要があると思っております。

ゆえに、この三項目についてお話ししますと、  
一 人材の確保については各地

区家族会の最大の支援課題として取り組んでいただきたいと思えます。このため、各地区家族会の近傍に所在する地本出張所等への積極的な支援及び各地区の特性に合った募集手段を検討・実践して、能動的な支援を実施して頂きますようお願い致します。

二 部隊精強化への関わりについては、部隊の方々は平素から厳しい訓練を行い、その精強化のため努力されております。しかし、部隊長等の方から、我々部外団体が関心を持ち部隊訓練を視察・研修することで、更に隊員の方々の士気も向上し訓練効果が増大すると聞いております。どうか、各地区家族会の近隣の部隊・学校等を対象として視察・研修を計画して頂きたいと思えます。

三 家族支援協力への参加については、昨年十二月に家族会としてはじめて実動訓練に参加された、かすみがうら市家族会を始め協力を申出られる会員（家族会）が増えて参りました。しかし、まだまだ隊友会様に比べ低迷しております。

一方、本年度は、いよいよ航空自衛隊百里基地及び航空自衛隊霞ヶ浦分屯基地と家族支援協力に向けての協定を結

ぶ運びとなっております。これを実行動につなげるには皆様の理解と積極的な協力が必要となります。本日もこのあと、施設学校の厚生課長にご説明いただきますので多くの方のご理解及び申し出を期待しております。

以上で私からの情報発信（私の思い）を終わります。有難うございました。

## 県家族会総会

茨城県自衛隊家族会 総会は今令和六年五月三十日にホテルレイクビュー水戸にて実施されました。

その概要をご紹介します。総会参加者四十五名、委任者四百十五名のもと、次の次第に従い実施されました。

- 一 開式の辞
- 二 国歌斉唱
- 三 会長挨拶
- 四 来賓挨拶・紹介
- 五 表彰状の伝達・授与
- 六 祝電披露
- 七 議長選出
- 八 議事
- 九 地区家族会活動状況の紹介
- 十 県会長からの情報発信
- 十一 講話
- 十二 講話

(一) 家族支援について  
(二) 茨城県家族会防衛講話

十二 閉会の辞  
以降、順に説明します。  
一 開式の辞は篠原二郎様に実施して頂きました。

二 国歌斉唱は前奏に引き続き参加者全員で国歌を斉唱致しました。

三 会長挨拶の内容は次の通りです。

本日、茨城



県自衛隊家族会 会員はもとより自衛隊から、霞ヶ浦駐屯地業務隊長、北村清孝様、勝田駐屯地施設学校総務部長、村田美佐紀様、土浦駐屯地武器学校総務部長、小山哲生様、古河駐屯地業務隊厚生科長、木村 誠様、百里基地第七航空団司令部人事部長、濱田裕司様、茨城地方協力本部から本部長栗秋健士様ほか募集課長・各所長等の方々のご臨席のもと茨城県自衛隊家族会の総会を開催出来ますことに深甚なる感謝を申し上げます。

さて、防衛環境の厳しさ及び震災発生時の蓋然性は益々増大していることから、自衛隊では人材の確保、人材の育成及び任務遂行に邁進できる環境の整備は早急に改善すべき

問題となっております。

私達、自衛隊家族会はこの問題の改善に少しでもお手伝いするために、人材募集の支援、部隊精強化への関わり、及び家族支援協力への参加等、従来以上に真剣に取り組む必要があると思っております。

このためには、まずは私達の自衛隊家族会が健全性を保持し、目標を共有することが必要であり、これを確認する意味から本日の総会は重要であると考えております。

どうか、本日の総会が會員の皆様のご協力のもと円滑かつ盛会に実施できますことを要望いたしまして、私のご挨拶とさせていただきます。

四 来賓挨拶・紹介



ご挨拶されたご来賓名は前述の会長挨拶にありますので省略致します。

なお、ご紹介した方々は左記のとおりです。

募集課長 海老原圭介様

日立出張所長 笠井義隆様、水戸募集案内所長

鳩員昇様、土浦地域事務所

長 長谷川治規様、龍ヶ崎地域事務所

逆井清人様、筑西地域事務所

市 毛正勝様、百里分駐所長

古家浩徳様

五 表彰状の伝達・授与

左記の方が受賞されました。

(公社)自衛隊家族会会長表彰

かすみがうら市家族会

木間塚 仙子様



県自衛隊家族会会長表彰

筑西市家族会

大足 豊様



かすみがうら市家族会

遠藤 善守様

代理の方による授受

授受おめでとうございます。

六 祝電披露

左記の三名の方から祝電を頂きました。

衆議院議員 額賀福志郎様

同 国光あやの様

東部方面総監 富樫勇一様

七 議長選出

県会長の指名により行方市

家族会の須藤賢一様に議長

を受けて頂きました。

八 議事

議事の項目は

(一) 令和五年度事業報告

(二) 令和五年度収支決算報告

(三) 令和六年度事業計画案

(四) 令和六年度予算案

(五) 役員選任について

議事では質問等はありませんが全項目ともが異議なしにて可決されました。

(質問・意見・要望の概要)

○令和六年度の予算(通信連絡費)は会員数の増加に反

し削減しているのは何故か。

○正会員が支払う県家族会への年会費五百円が負担である。

○自衛官の定年延長及び処遇改善の拡大を自衛隊家族会として陳情してほしい。

○各地区に在籍する会員全員に県家族会の年会費納入を強制できないのか。

九 地区家族会の活動状況紹介

(一) かすみがうら市家族会です。昨年(令和五年八月二十

九日)に、木間塚仙子会長以下十一名の方が宇都宮駐屯地を視察研修されました。

東部方面特科連隊第二大隊や中央即応連隊を訪問し、駐屯地説明、資料館の歴史ある品々の見学、その後の外の展示品の見学では会員の皆さんは汗をかきながらも車両やヘリコプターの説明を熱心に聞いておりました。

名の方が人間基地を視察研修されました。

目的は防衛思想の普及・高揚及び会員(同士)間のコミュニケーションの向上を図ることです。

今後は会員の希望を反映し、茨城県出身隊員との会食・懇談・記念品贈呈、宿泊先での会員間の懇親会を含めた遠方への研修を計画したいと考えています。

(三) 阿見町家族会です。本年(令和六年一月十七日)に正代初代会長以下十二名の方が霞ヶ浦分屯基地を視察研修されました。

航空自衛隊中部航空群第三高射隊の概要説明、装備するペトリオットの発射準備のため移動・展開の訓練の様子及び隊長以下隊員の方々と



成果として、新会員の皆様に自衛隊駐屯地の様子を見て頂くこと、またそこで親子の再会があった時は、私共も思わず目を細めてしまいました。これからも地域の皆様や会員の皆様、そして家族会担当者との交流を計り、意見交換ができればと願っております。



(二) 常陸大宮市家族会です。昨年(令和五年十二月七日)は、足田勝義会長以下三十五

は、足田勝義会長以下三十五

食を行い、近隣でありながら初めての研修となりました。隊長様からは、「定期的に家族会が研修し隊員を鼓舞して頂くことを期待しています。」とのコメントを頂きました。



（四）筑西市家族会です。

本年（令和六年二月十四日）に、大足豊会長以下二十三名の方が百里基地を視察研修されました。

これは、茨城地本筑西地域事務所及び筑西市役所消防防課の支援のもと行われました。

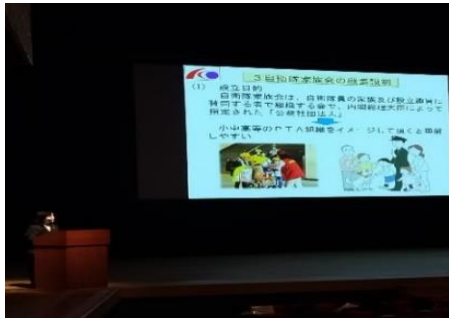
百里基地の任務・活動状況等の説明を受けるとともに民間航空と共用する管制塔やF2A戦闘機等の見学及び体験喫食

などを行い、防衛関係知識の向上と会員間の親睦を図ることができました。



（五）県家族会の入会説明会です。

令和六年三月二日に水戸市「ザ・ヒロサワ・シティ大ホール」において、第一部の入隊・入校激励会に引き続き「茨城県自衛隊家族会」による入会案内説明会を実施しました。



県会長自ら大ホール演壇において、約十分間の説明を

施しました。その結果十六名の方に入会していただきました。この日は、五名の地区家族会長等に応援に来ていただきました。大変有難うございました。なお、今後の地区家族会からご提供いただきます活動状況を含めて県家族会の「会報」にてご紹介いたします。



十 県会長からの情報発信

時間の都合上実施しませんでした。本会報の冒頭の会長挨拶がその内容です。

十一 講話

（一）家族支援について

時間の都合上中止となり、次の機会に実施する予定です。

（二）茨城県家族会防衛講話

茨城地方協力本部長 栗秋健士様に「航空自衛隊 高射部隊の概要」について講話を頂きました。

十二 閉会の辞

閉会の辞は大足豊様に実施して頂きました。

以上で茨城県自衛隊家族会総会についてご紹介いたします。

総会後の懇親会

総会に引き続き懇親会を実施し、会員及びご来賓を含め三十四名の方に参加して頂きました。



来賓として第一師団長 陸将 兒玉恭幸様にご臨席たまわる予定でしたが、急遽ご対応が必要な執務が生じたためご欠席となりました。しかしながら今日のこの日までご臨席をご承諾いただいていたことに對し、心より深く感謝を申し上げます。

これは、兒玉師団長様が自衛隊家族会を重要視され、期待されている証であると重く感じております。

茨城県家族会はこの期待に応えるため、自衛隊との親密な関係を維持しつつ県下の会員の総力をあげて自衛隊の人材の確保、人材育成及び任務に邁進できる環境の構築に寄与すべく努めて行きたいと思いまので宜しくお願い申し上げます。

それでは、皆様、本日は、ごゆっくりお食事とお酒を楽しみつつご歓談いただければ幸いです。

二 来賓挨拶

ご来賓の方を代表して、茨城地方協力本部長 栗秋健士様 及び 茨城県隊友会長 長島修照様にご挨拶をいただきました。



一 会長挨拶

本日は、総会後の懇親会にご出席いただき、誠にありがとうございました。

総会から引き続きご参加頂いている方は既にご承知の通り、総会は、無事、盛会裏に終了致しましたことをここに報告申し上げます。

さて、本日の懇親会にはご

二 はじめの乾杯  
木間塚仙子様  
に乾杯のご発声  
をして頂きました。

三 ご歓談

六台の円卓に  
着席し、官民の  
ご来賓・会員が  
混在する形式で歓談して頂き  
ました。皆様、和やかの中に  
貴重な情報・意見交換を行っ  
ていただくことができました。



熟練したバチさばきにて懇  
親会を盛り上げて頂きました。  
た。



五 参加者紹介

参加された全員の方々にご  
会がお名前を読み上げ自己紹  
介をして頂きました。

六 締めのご挨拶

吉井清勝様に締めのご挨拶  
をして頂きました。

入会者

三月二日の入会説明会の後、  
四月一日付で左記十六名の方が  
入会されました。



四 突然の余興

地方協力本部長には、三  
味線を手突然に入場され、

茨城県家族会役員

(令和六年五月二十日現在)

会長 正代初代  
副会長兼地区協議会長

北北 篠原二郎

県央 吉井清勝

土浦 木間塚仙子

県南 正代初代

県西 大足豊

鹿行 須藤賢一

県北理事

日立日立 小針靖晃

常陸太田 吉成恒平

高萩 大泉捷利

北茨城 篠原二郎

常陸大宮 疋田勝義

大子 菊池信一

県央理事

水戸 町島正敏

笠間 吉井清勝

那珂 小野瀬栄

茨城 大川正一

大洗 清宮一美

城里 清水良一

土浦理事

土浦 篠塚昌毅

石岡 宮田正美

つくば 星田弘司

かすみがうら 木間塚仙子

県南理事

龍ヶ崎 船橋規利

稲敷 小林三令

阿見 正代初代  
県西理事

筑西 大足豊

千代田 中荻貞良

鹿行理事

潮来 関宗一

神栖 鈴木輝彦

行方 後任者選任中

鉾田 鈴木勉

監事

城里 清水良一

土浦 篠原正樹

名誉会長 田口文明

事務局長 阿見 正代藤倫

地区家族会は県家族会所属  
属会員で構成する組織！

県自衛隊家族会 事務局長  
からの依頼です。

(公社)自衛隊家族会の「地方組織規則」には「会員は原則としてその居住地に存する都道府県家族会に所属する。」と規定されているのに反し、地区家族会には県家族会に所属しておられない方が多数在籍されております。この方々は現在、自衛隊家族会の会員ではない(会員としての権利を保持しない。)状態にありますので、本来、地区家族会にも在籍することはできません。このため、県下各地区家族会の会長各位にはリーダーシップをとって頂き、現在地区

家族会に在籍している方全員を  
対象に県家族会所属に変更して  
頂くようお願い申し上げます。  
なお、(公社)自衛隊家族へ  
の名簿の報告時期は九月ですの  
で、八月末までには手続きを完  
了して頂きますようお願い致し  
ます。

編集後記

自衛隊茨城地方協力本部には  
総会の準備・実施を通じ全面的  
にご協力いただきました。ここ  
に謹んで感謝申し上げます。

編集部では次回の編集のため  
郵送又は左記メールアドレスへ  
の送信により皆様のご寄稿をお  
待ちしております。

事務局長 正代藤倫

fujinorihatsuyoshodai@gmail.com



賛助会員